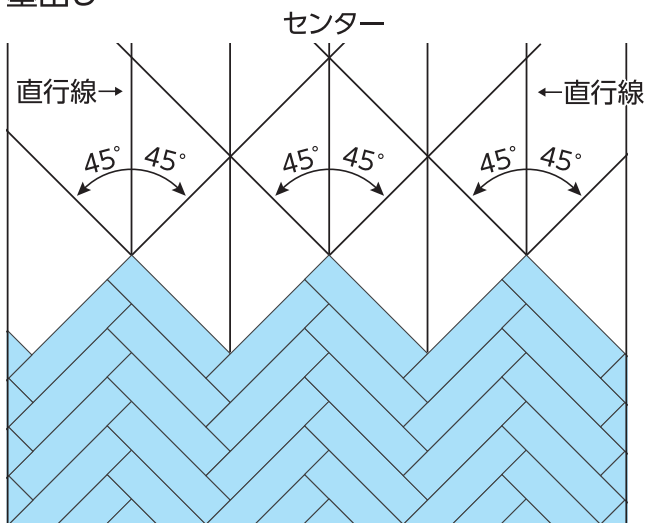


ヘリンボーンフローリング 施工要領

1. 施工前

- 合板接合部の目違い、合板の貼り込みが合っているか確かめ、表面を掃き掃除して下さい。
- 実際の施工前に、接着材を塗布していない床に仮並べして確認します。

墨出し



2. 施工

- ヘリンボーンフローリングは長手方向にオス、メスザネがありますが、エンド部分はオスザネがありません。(すべてメスザネとなります。)そのためメスザネ同士が突き付けになる部分が出てきます。気になる方は合板などで「雇いザネ」を作って入れるようにしてください。
- ヘリンボーンフローリングはスミ出した部分だけフローリング用のステープル釘と接着材で留め、その他の部分は2液性のエポキシボンドで接着工法にて施工してください。この際、ウレタンボンドを使わずに必ずエポキシボンドを基準線以外全面に塗布してください。全体をステープル釘と接着材にて施工する場合はウレタンボンドでも可能です。なお、エポキシボンドの場合はオープニングタイムを必ず守り、混ぜた後15～20分以内に必ず接着してください。
- 接着工法で施工した箇所は、施工直後にすぐにウェイト(重し)を1日置いて、下地材と床材の間に空気を完全に抜くようにしてください。重しを置かないと突き上げ事故の原因となります。接着工法の場合は下地のごくわずかな不陸が、床材の段差等になって現れますので、下地を水平にしてください。
- 施工後、高温になったり湿度が高い状態になる可能性が有る場合は、0.3mm程度の隙間を設けてください。
- ヘリンボーンは墨出しを行う時、45度線と直行線の両方を下地に付けた方が便利です。
- ヘリンボーンは壁間の長さを測り、そのセンターから墨出しし、左右の壁面との収まりが均等になるように割り付けられることをおすすめします。
- 床の面積や形状にもよりますが、壁際等斜めに切断割り当て施工されるため、数量は床面積より多めに必要となる場合もございます。
- 壁際は巾木で隠れる程度の隙間を開けてください。